

平成 18 年 11 月 2 日

各 位

会 社 名 株式会社エフアンドエム
(コード番号 4771 大証ヘラクレス)
本 社 大阪府吹田市江坂町 1-23-38
代 表 者 名 代表取締役社長 森中 一郎
問 い 合 せ 先 常務取締役管理本部長 西川洋一郎
T E L 0 6 - 6 3 3 9 - 7 1 7 7

業績予想の修正に関するお知らせ

平成 19 年 3 月期中間期（平成 18 年 4 月 1 日～平成 18 年 9 月 30 日）の連結および個別の業績予想につきまして、平成 18 年 5 月 10 日に公表した業績予想を下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

I 中間期業績予想の修正

(1) 平成 19 年 3 月期中間期連結業績予想数値の修正（平成 18 年 4 月 1 日～平成 18 年 9 月 30 日）
(単位：百万円)

	売 上 高	経 常 利 益	当 期 純 利 益
前 回 発 表 予 想 (A)	2,498	479	183
今 回 修 正 予 想 (B)	2,126	51	△0
増 減 額 (B - A)	△372	△428	△183
増 減 率 (%)	△14.8	△89.2	—
<ご参考> 前期実績（平成 18 年 3 月期中間期）	2,194	389	110

(2) 平成 19 年 3 月期中間期個別業績予想数値の修正（平成 18 年 4 月 1 日～平成 18 年 9 月 30 日）
(単位：百万円)

	売 上 高	経 常 利 益	当 期 純 利 益
前 回 発 表 予 想 (A)	2,087	478	182
今 回 修 正 予 想 (B)	1,842	72	14
増 減 額 (B - A)	△245	△406	△168
増 減 率 (%)	△11.7	△84.8	△91.9
<ご参考> 前期実績（平成 18 年 3 月期中間期）	1,857	400	132

II 通期業績予想の修正

(1) 平成 19 年 3 月期通期連結業績予想数値の修正 (平成 18 年 4 月 1 日～平成 19 年 3 月 31 日)

(単位：百万円)

	売上高	経常利益	当期純利益
前回発表予想 (A)	5,552	1,065	407
今回修正予想 (B)	5,180	637	224
増減額 (B - A)	△372	△428	△183
増減率 (%)	△6.7	△40.1	△45.0
<ご参考> 前期実績 (平成 18 年 3 月期)	4,672	774	242

(2) 平成 19 年 3 月期通期個別業績予想数値の修正 (平成 18 年 4 月 1 日～平成 19 年 3 月 31 日)

(単位：百万円)

	売上高	経常利益	当期純利益
前回発表予想 (A)	4,638	1,063	406
今回修正予想 (B)	4,393	657	238
増減額 (B - A)	△245	△406	△168
増減率 (%)	△5.2	△38.1	△41.3
<ご参考> 前期実績 (平成 18 年 3 月期)	4,044	447	294

III 中間業績予想修正の理由

(1) 連結 (平成 18 年 4 月 1 日～平成 18 年 9 月 30 日)

中間連結売上高につきましては、TaxHouse 事業の加盟件数が銀行代理業認可取得の遅れの影響を受け当初中間予想を下回ったことに加え、再就職支援事業も市場減衰の影響を避けられず、前回予想を 14.8%下回る 2,126 百万円となる見通しです。

中間連結経常利益につきましては、中間連結売上高の修正理由に加え、TaxHouse 事業およびその他の事業において積極的に先行費用を投入したため、前回予想を 89.2%下回る 51 百万円となる見通しです。

中間連結当期純利益につきましては、中間連結経常利益修正の理由に加え、固定資産除却損および投資有価証券評価損の計上が見込まれるため、0.4 百万円の損失となる見通しです。

(2) 個別 (平成 18 年 4 月 1 日～平成 18 年 9 月 30 日)

中間個別売上高につきましては、TaxHouse 事業の加盟件数が銀行代理業認可取得の遅れの影響を受け当初中間予想を下回ったため、前回予想を 11.7%下回る 1,842 百万円となる見通しです。

中間個別経常利益につきましては、中間個別売上高の修正理由に加え、TaxHouse 事業およびその他の事業において積極的に先行費用を投入したため、前回予想を 84.8%下回る 72 百万円となる見通しです。

中間個別当期純利益につきましては、中間個別経常利益修正の理由に加え、固定資産除却損および投資有価証券評価損の計上が見込まれるため、前回予想を 91.9%下回る 14 百万円となる見通しです。

IV 通期業績予想修正の理由

(1) 連結 (平成 18 年 4 月 1 日～平成 19 年 3 月 31 日)

通期連結業績予想につきましては、「III 中間業績予想修正の理由 (1) 連結」に記載の修正理由を主因として、通期連結売上高 5,180 百万円 (前回予想比△6.7%)、通期連結経常利益 637 百万円 (前回予想比△40.1%)、通期連結当期純利益 224 百万円 (前回予想比△45.0%) となる見通しです。

(2) 個別 (平成 18 年 4 月 1 日～平成 19 年 3 月 31 日)

通期個別業績予想につきましては、「III 中間業績予想修正の理由 (2) 個別」に記載の修正理由を主因として、通期個別売上高 4,393 百万円 (前回予想比△5.2%)、通期個別経常利益 657 百万円 (前回予想比△38.1%)、通期個別当期純利益 238 百万円 (前回予想比△41.3%) となる見通しです。

以上